



はくろ（白鷺）の散歩Ⅳ

令和3年4月8日
～校長室の窓から～ 令和3年度 No.1
神奈川県立平塚中等教育学校
校長 野村 泰弘

【平塚中等、新たに始動！】

令和3年4月1日付で、綾瀬西高等学校校長から平塚中等教育学校校長として着任した野村泰弘です。本校には、3年前に副校長として勤務していました。

4月5日に始業式をリモートで行いました。生徒の皆さんに、何事に対しても「本気」で取り組むことの大切さ、楽しさを話しました。4月6日の午後には、第13回入学式を行い、160名の新生を迎え入れました。新生には、「君の夢は、君の好奇心が大きくなる」という言葉とともに、渋沢栄一の「夢七訓」を紹介し、「夢なき者は理想なし」……「幸福をもとむる者は夢なかるべからず」夢を持つことの大切さを話しました。

この2つのメッセージには、夢を持って、どんなことにも本気で挑戦してほしい！という願いを込めました。私は、今の若者は、もしかしたら歴史上最も優秀な若者ではないかと思っています。サッカーの久保、野球の大谷、バスケの八村、みんな、世界基準です！将棋の藤井、水泳の池江などなど優秀な若者がたくさん出ています！ところが、多くの若者は、失敗を怖がってチャレンジすることができない！これさえ克服してくれば、日本の将来は明るい！平塚中等教育学校の目標は、「次世代を担うリーダーの育成」です。日本の将来は、皆さんの活躍にかかっています。そんな強い志を持って学校生活を送ってほしいと思います。

平塚中等教育学校ネクストステージのスタートに当たり、次の言葉を送ります！

「第一歩」

十里の旅の第一歩 百里の旅の第一歩

同じ一歩でも覚悟がちがう

三笠山に登る第一歩 富士山に登る第一歩

同じ一歩でも覚悟がちがう

どこまで行くつもりか

どこまで登るつもりか

目標が その日その日を支配する

4月7日、いよいよ新生を合わせた全校生徒の生活が本格的にスタート！1時間目は、リモートによる対面式、1年生のクラスを覗いてみると、全員が姿勢を正して、先輩たちのメッセージに耳を傾けていました。そして、画面に向かって礼をしたり、拍手をしたりしている姿が微笑ましかったです。つづいて、体育祭のブロック決め！各クラスの代表者が集められ、オリジナルあみだくじによる抽選会の様子がリモートで実況中継されました！各クラスでは、歓声や拍手が起こっていました！本来は、直接先輩たちの顔を見ながら、対面式やブロック決めをやりたいところでしたが、このリモート方式もコロナ禍の新しい学校生活の一つです。



【部活動に入ろう！】

新生の皆さん！4月9日に部活動オリエンテーションがあります。中等教育学校は6年間です！せっかく入学したのだから、6年間継続して取り組めるものを見つけましょう！

一般的に中学・高校というステップで行けば、必ず中学3年生の時に引退します。これを引退せずに6年間継続してできるのは中等教育学校だけです！この経験が皆さんを大きく成長させます。

勉強も部活動も毎日コツコツと積み重ねていくことが大切です。その小さなことの積み重ねがやがて、大きな結果に結びつきます。

6年間継続し続けたら、大きなことができると思いませんか？ **コツコツが勝つコツ！**